

県民意識調査にご協力ください

この調査は、県政運営の基本指針である「新・宮城の将来ビジョン」の取組に関し、県民の皆様の重視度・満足度、今後優先すべきテーマなどについてお聞きするものです。県では、その結果を、今後の県政運営に活かしてまいりたいと考えております。

お忙しいところお手数をお掛けいたしますが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

▼ 郵送で回答する場合

手順 1

調査票（本紙）
に記入



手順 2

同封の返信用封筒
に入れる

手順 3

ポストに投函

11月28日（金）まで

▼ インターネットで回答する場合

手順 1

QRコード
を読み取り



専用フォームへアクセス
<https://logoform.jp/form/GQGB/1189471>

回答・送信

11月28日（金）まで

または「宮城県民意識調査」と検索し、
県のホームページ（県民意識調査について）に掲載しているリンクから、回答ページにアクセス

▼ デジタル身分証アプリ(ポケットサイン)で回答する場合

手順 1

- ご用意いただくもの
- ①NFC対応のスマートフォン
- ②マイナンバーカード
- ③マイナンバーカード交付時に
設定した4桁の暗証番号



アプリの詳細
はQRコード
を読み取り
ください

QRコードを読み取り
アプリをダウンロード



登録完了後のホーム画面で
「アンケート」をタップ

回答フォーム
「令和7年県民意識調査」

回答・送信
11月28日（金）まで

※NFC 対応とは、おサイフケータイやタッチ決済機能が搭載されているスマートフォンのことです。

インターネットまたはデジタル身分証アプリから回答の際は、
以下の ID（6桁数字）を始めに入力の上、回答を進めてください。

※郵送回答との重複を確認するためのものであり、
個人を特定するものではありません。

◆ 調査対象者

県内にお住まいの18歳以上の方4,000人を、選挙人名簿等から無作為に抽出させていただきました。

◆ 調査基準日

調査票は、令和7年11月1日時点でご記入ください。

◆ 調査回答の方法

調査をお願いしたご本人（封筒の宛名となっている方）がお答えください。

なお、ご記入の際は、濃い鉛筆やボールペンなどをご使用ください。また、一旦ご記入した内容を訂正する場合は、訂正後の回答がはっきり分かるようにしてください。

本調査は紙（本紙）、インターネットまたはデジタル身分証アプリでご回答ください。

◆ 記入いただいた調査票について

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、11月28日（金）までに、切手を貼らずにそのままポストに投函してください。

なお、調査は無記名で行いますのでお名前やご住所は記載不要です。また、調査結果は個人を特定できないよう統計的に処理するとともに、調査目的以外の利用はいたしませんので、皆様の率直なご意見をご記入くださいますようお願いいたします。

※インターネットまたはデジタル身分証アプリで回答した場合は、本調査票は返送不要です。

◆ 調査結果について

この調査の結果は、令和8年3月頃に、県のホームページ（県民意識調査について）、県政情報センター、各地方振興事務所及び各地域事務所の県政情報コーナー（仙台地方振興事務所は除きます。）、議会図書室（県議会庁舎）でお知らせします。

調査票の構成

- | | | |
|---|--------------------|-----------------|
| 1 | あなたご自身のことについて | ……………（3～4ページ） |
| 2 | 新・宮城の将来ビジョン（※）について | ……………（5～15ページ） |
| 3 | その他の取組について | ……………（16～17ページ） |
| 4 | 今回の調査に対するご意見について | ……………（19ページ） |

※「新・宮城の将来ビジョン」の概要については、県のホームページをご覧ください。

新・宮城の将来ビジョン

検 索

あなたご自身のことをお聞きします。

問1 性別（あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。）

- 1 男 2 女 3 その他（どちらともいえない・わからない・答えたくない）

問2 あなたの年代は以下のうち、どれに該当しますか。

1から9のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- 1 10代 2 20代 3 30代 4 40代 5 50代
6 60代 7 70代 8 80代 9 90代以上

問3 現在お住まいの市区町村名をご記入ください。

なお、県外にお住まいの方は本調査の対象外となります。

（ ）市・区・町・村

※仙台市在住の方は区名を、それ以外の方は市町村名をご記入ください。

問4 あなたを含めて同居のご家族は何人ですか。

（ ）人

付問1 同居のご家族（あなたも含めます）の中に、以下の方はいらっしゃいますか。

1から6のうち、あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。

- 1 乳幼児（小学校就学前の子） 2 小学生
3 中学生 4 高校生
5 大学生（各種学校を含む） 6 65歳以上の方

問5 あなたは、宮城県にお住まいになって通算何年になりますか。

通算（ ）年

問6 あなたの職業について、1から7のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。
 ※【2】にあてはまる方は、さらに【①】から【④】のあてはまる番号に○をつけてください。

1 自営業主・家族従業者

2 被用者（雇われている人）

① 会社員

② 公務員・独立行政法人職員

③ パート・アルバイト・フリーター

④ その他（

）

3 企業役員・団体代表等

4 専業主婦（主夫）

5 学生

6 無職

7 その他（

）

付問1 問6で【1】【2】【3】【7】を選んだ方にお聞きします。

現在の仕事の内容について、1から18のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

※複数の職業をお持ちの場合は、最も従事割合の高いものを選んでください。

1 農業、林業

2 漁業

3 鉱業、採石業、砂利採取業

4 建設業

5 製造業

6 電気・ガス・熱供給・水道業

7 情報通信業

8 運輸業、郵便業

9 卸売業、小売業

10 金融業、保険業

11 不動産業、物品賃貸業

12 学術研究、専門・技術サービス業

13 宿泊業、飲食サービス業

14 教育、学習支援業

15 医療、福祉

16 その他のサービス業

17 公務

18 その他（

）

新・宮城の将来ビジョンについてお聞きます。

令和3年度から10年間の計画として「新・宮城の将来ビジョン（以下、「ビジョン」といいます。）」がスタートしています。「新・宮城の将来ビジョン」では、今後見込まれる社会の変化等を踏まえながら、将来の宮城のあるべき姿や目標を県民の皆さんと共有し、その実現に向けて取り組んでまいります。

○ビジョンの位置づけ

県政運営の基本的な指針であり、県の施策や事業を進める上での中長期的目標と位置づけるものです。ビジョンでは、宮城県の特徴や各地域の特性を踏まえ、将来にわたり発展し続けていく宮城を構築するため、県として重点的に取り組むべきテーマや目指す姿などを明確にした上で、その実現に向けた中長期的な取組の方向性を示しています。

○計画期間

10年間（前期：令和3年度～令和6年度、中期：令和7年度～令和9年度、後期：令和10年度～令和12年度）

○「持続可能な未来」のための8つの「つくる」

ビジョンでは、4つの政策推進の基本方向に基づき、「持続可能な未来」のための8つの「つくる」を推進します。

政策推進の基本方向1

富県宮城を支える県内産業の持続的な成長促進

つくる1 ～新しい価値～

全産業で、先進的取組と連携によって新しい価値をつくる

つくる2 ～成長の基礎～

産業人材の育成と産業基盤の活用によって
持続的な成長の基礎をつくる

政策推進の基本方向3

誰もが安心していきいきと暮らせる地域社会づくり

つくる5 ～いきいき～

一人ひとりがいきいきと豊かに生活できる環境をつくる

つくる6 ～安全安心～

健康で、安全安心に暮らせる地域をつくる

政策推進の基本方向2

社会全体で支える宮城の子ども・子育て

つくる3 ～子育て～

子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる

つくる4 ～教育～

社会を生き、未来を切りひらく力をはぐくむ教育環境をつくる

政策推進の基本方向4

強靱で自然と調和した県土づくり

つくる7 ～自然と共存～

自然と人間が共存共栄する社会をつくる

つくる8 ～県土～

世代を超えて安全で信頼のある強くしなやかな県土をつくる

◆ これから8つの「つくる」について質問しますので、「つくる」ごとの説明を読んだ上で、質問にお答えください。

取組① 産学官連携によるものづくり産業等の発展と研究開発拠点等の集積による新技術・新産業の創出

【主な取組】

- 地域経済の核となるものづくり産業の誘致や、ICT 産業の集積を促進します。
- 次世代放射光施設「ナノテラス」の利用を促進し、地域の研究機関や企業、大学等による最先端の研究開発や人材育成を推進します。



【令和6年度までの主な成果等】

指標	初期値	最新の実績値	R 6までの目標値
県内の企業立地件数	347 件 (R1)	429 件 (R6)	465 件
産学官連携の取組件数	2,234 件 (R1)	3,684 件 (R4)	2,594 件
県内製造品出荷額等 (食料品製造業除く)	4 兆 80 億円 (H30)	4 兆 7,669 億円 (R4)	4 兆 1,289 億円

最新の実績値のうち口で囲ってあるものはR6までの目標値を達成したものの示します(以降同様)

取組② 宮城が誇る地域資源を活用した観光産業と地域を支える商業・サービス業の振興

【主な取組】

- 宮城オルレなどによる誘客促進や、教育旅行の誘致、デジタル技術を活用した戦略的な誘客プロモーションなどにより、国内外の観光客を呼び込みます。
- 地域ポイントを活用し、デジタル身分証アプリの普及拡大と地域経済の活性化を図ります。



【令和6年度までの主な成果等】

指標	初期値	最新の実績値	R 6までの目標値
観光客入込数	6,796 万人 (R1)	7,051 万人 (R6)	7,000 万人
観光消費額	3,989 億円 (R1)	4,527 億円 (R6)	3,990 億円
宿泊観光客数	989 万人泊 (R1)	988 万人泊 (R6)	990 万人泊
サービス業の付加価値額	2 兆 7,720 億円 (H29)	2 兆 9,182 億円 (R4)	2 兆 8,560 億円

取組③ 地域の底力となる農林水産業の国内外への展開

【主な取組】

- （農業）DXの推進や需要に応じたみやぎ米の生産などにより、生産性や販売力・収益性の向上を図ります。
- （水産業）海洋環境の変化に対応するため、新たな操業体制の構築に向けた取組支援、高水温に対応した養殖技術や新規養殖種探索の取組を推進します。
- （林業）県産木材の需要創出や、担い手の確保・育成、森林経営管理制度*の推進を図ります。
- 商品に応じた販路開拓を支援し、県産食品の販売力強化に取り組みます。

*森林経営管理制度…手入れの行き届いていない森林について、適切に整備を進めていくために、森林所有者に代わって森林の経営や管理を市町村が行う制度。

【令和 6 年度までの主な成果等】

指標	初期値	最新の実績値	R6までの目標値
農業産出額	1,939 億円 (H30)	1,924 億円 (R5)	2,116 億円
漁業産出額	789 億円 (H30)	888 億円 (R5)	789 億円
林業産出額	84.6 億円 (H30)	97.3 億円 (R5)	100.5 億円
県内製造品出荷額等 (食料品製造業)	6,576 億円 (H30)	7,160 億円 (R4)	6,900 億円

つくる！に対するあなたの重視度と満足度について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

重視度	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 分からない
満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

今後優先すべきと思うテーマについて、次の中から番号を選び○をつけてください（複数選択可）。

- 1 県内に新たな企業を呼び込み、最新技術の活用を進める
- 2 研究開発の拠点を集め、企業、大学と連携して地域産業を活性化する
- 3 ものづくり産業の発展を支援する
- 4 地域の持ち味を活かし、収益力が高い観光産業を実現する
- 5 魅力的な観光地づくりや効果的な観光情報の発信により、観光客を増やす
- 6 高齢化や過疎化などの課題に対応し、地域を支える商業・サービス業の持続性を高める
- 7 農林水産業や食産業を将来にわたり発展させる
- 8 農林水産物の国内外への PR や、生産管理を支援する
- 9 食の安全・安心を確保する

取組① 時代と地域が求める産業人材の育成と活躍できる環境の整備

【主な取組】

- 県内企業のインターンシップ受入を促進するほか、県外の学生が県内で就職活動を行う際の支援を行います。
- 女性の再就職を支援するため、相談窓口を設置するほか、リスキング（新しい知識・スキルを身に付ける教育）を促進します。
- インドネシア等からの外国人材の受入の促進や、日本語教育体制の整備などにより、幅広い人材が活躍できる環境を整えます。



【令和6年度までの主な成果等】

指標		初期値	最新の実績値	R6までの目標値
高校生の県内製造業就職率		32.6% (H30)	35.5% (R5)	35.0%
第一次産業の新規就業者数	農業	158人 (R1)	131人 (R5)	160人
	水産業	35人 (R1)	24人 (R6)	43人
	林業	48人 (R1)	69人 (R5)	88人
キャリアアップに向けた人材育成等を目的としたプログラム推進件数		59件 (R2)	67件 (R6)	62件

取組② 時代に対応した宮城・東北の価値を高める産業基盤の整備・活用

【主な取組】

- 産業基盤として重要な道路、港湾、漁港施設等を着実に整備・管理します。
- 若者を対象としたパスポート取得費用等の一部助成等により、空港の利用拡大を図ります。

【令和6年度までの主な成果等】

指標	初期値	最新の実績値	R6までの目標値
仙台塩釜港（仙台港区）のコンテナ貨物取扱量（実入）	19.7万TEU (R1)	16.8万TEU (R6)	18.1万TEU
仙台空港乗降客数	371.8万人 (R1)	377.8万人 (R6)	371.0万人

つくる2に対するあなたの重視度と満足度について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

重視度	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 分からない
満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

今後優先すべきと思うテーマについて、次の中から番号を選び○をつけてください（複数選択可）。

- 1 県内への就職・就業を進め、人材を育て、担い手を確保する
- 2 誰もが希望どおり働き続けるための環境を整える
- 3 リカレント教育*を支援する
- 4 個人や企業の事業アイデアの実現や経営力の強化を支援する
- 5 空港や港湾、漁港、道路、農地、森林等を整備する
- 6 空港や港湾、漁港、道路、農地、森林等の産業基盤を有効活用する
- 7 他地域から東北に呼び込むゲートウェイ機能*を強化する

*リカレント教育

学校教育からいったん離れて社会に出た後も、それぞれの人の必要なタイミングで再び教育を受け、仕事と教育を繰り返すこと。

*ゲートウェイ機能

全国、世界から東北へ広くヒト・モノを呼び込む玄関口としての機能。

つくる3【子育て】 子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる

取組① 結婚・出産・子育てを応援する環境の整備

【主な取組】

- 「みやぎ結婚支援センター」(みやマリ!) の運営などにより、結婚を希望される方を応援します。
- 子ども医療費助成や不妊治療医療費助成等を行う市町村に対する補助や、子育て支援パスポートの普及などにより、子育て中のご家庭や妊娠を望まれる方をサポートします。



【令和6年度までの主な成果等】

指標	初期値	最新の実績値	R6までの目標値
みやマリ! 登録者数	201 人 (R2*)	1,427 人 (R6)	1,000 人
みやぎっこ応援の店 登録店舗数	2,181 店 (R1)	2,785 店 (R6)	3,000 店
保育所等利用待機児童数	340 人 (R1)	17 人 (R6)	0 人

* R2の実績は、「みやぎ青年婚活サポートセンター」のもの。

取組② 家庭・地域・学校の連携・協働による子どもを支える体制の構築

【主な取組】

- フードバンク支援活動団体へ助成を行い、活動を支援します。
- 社会的養育が必要な児童が家庭的な環境で生活できるよう、里親の育成やマッチング等により支援体制を整えます。
- 地域で家庭教育の相談に応じる人材の育成や、家庭教育支援チームの設置促進により、家庭教育支援の充実を図ります。



子ども食堂の様子

【令和6年度までの主な成果等】

指標	初期値	最新の実績値	R6までの目標値
県内の子ども食堂の数	70 箇所 (R2)	198 箇所 (R6)	180 箇所
里親委託率	37.6% (R1)	36.7% (R6)	51.4%
家庭教育支援チームの 活動件数	79 件 (R1)	373 件 (R6)	101 件

つくる3に対するあなたの重視度と満足度について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

重視度	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 分からない
満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

今後優先すべきと思うテーマについて、次の中から番号を選び○をつけてください(複数選択可)。

- 1 結婚・妊娠・出産を望む人たちを支援する
- 2 子育て家庭の心理的・経済的な負担を少なくする
- 3 安心して子育てができるような職場や社会の環境をつくる
- 4 すべての子どもが健やかに育ち、安心して教育を受けられる環境をつくる
- 5 社会全体で虐待から児童を守る
- 6 子どもが基本的な生活習慣などを身に付けられるように家庭を支援する
- 7 家庭・地域・学校が協力できるような仕組みを強化する

つくる4【教育】 社会を生き、未来を切りひらく力をはぐくむ教育環境をつくる

取組① 多様で変化する社会に適応し、活躍できる力の育成

【主な取組】

- 就職を希望する高校生と県内企業とのマッチングを支援し、職場定着を促進します。
- 学校への指導員の派遣や授業改善などにより、児童生徒の学力の向上を目指します。
- 体力・運動能力センターを設置し学校等へ巡回指導を行うことにより、児童生徒の体力・運動能力の向上を図ります。

【令和6年度までの主な成果等】

指標		初期値	最新の実績値	R6までの目標値
全国学力テストの 全国平均正答率と の乖離(ポイント)	小 6	▲3.0 ポイント (R1)	▲4.5 ポイント (R6)	0.0 ポイント
	中 3	▲3.5 ポイント (R1)	▲5.0 ポイント (R6)	0.0 ポイント
スポーツテストの 体力合計点の全国 平均値との乖離 (ポイント)	小 5	男 ▲0.36 ポイント (R1)	男 ▲0.09 ポイント (R6)	男 +0.10 ポイント
		女 ▲0.33 ポイント (R1)	女 ▲0.17 ポイント (R6)	女 +0.10 ポイント
	中 2	男 +0.08 ポイント (R1)	男 +0.72 ポイント (R6)	男 +0.10 ポイント
		女 ▲1.01 ポイント (R1)	女 ▲1.00 ポイント (R6)	女 +0.10 ポイント

取組② 安心して学び続けることができる教育体制の整備

【主な取組】

- モデル地域を設定し、障害のある児童生徒と障害のない児童生徒と一緒に学ぶインクルーシブ教育を実践します。
- 各学校へスクールカウンセラー等を派遣し、児童生徒等の相談に対応します。
- 教職員の資質向上に向けた研修や、業務負担軽減のためのスタッフの配置等を行います。

【令和6年度までの主な成果等】

指標	初期値	最新の実績値	R6までの目標値
特別支援学校の児童生徒が居住地の 小・中学校の児童生徒と交流及び 共同学習した割合	12.6% (R2)	34.9% (R6)	36.0%
不登校児童生徒のうち学習支援を 受けている児童生徒の割合(中学生)	72.6% (R1)	91.1% (R5)	94.0%

つくる4に対するあなたの重視度と満足度について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

重視度	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 分からない
満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

今後優先すべきと思うテーマについて、次の中から番号を選び○をつけてください(複数選択可)。

- 1 他の人と協調し、人を思いやる心や、自然や美しいものに感動する心などをはぐくむ
- 2 基礎的な学力や考える力・表現する力を高める
- 3 最新技術や国際化に対応するための能力をはぐくむ
- 4 健康な身体づくりや体力・運動能力の向上を進める
- 5 子どもたちが行きたくなるような学校づくりを進める
- 6 多様な子どもたちに合わせた教育体制をつくる
- 7 いじめの防止対策や学校に登校していない児童生徒一人ひとりに応じた支援を行う
- 8 教職員のスキルアップや働きやすい学校づくりに取り組む

つくる5【いきいき】 一人ひとりがいきいきと豊かに生活できる環境をつくる

取組① 就労や地域活動を通じた多様な主体の社会参画の促進

【主な取組】

- 障害者雇用に関する企業の理解促進を図り、障害のある方と企業とのマッチング機会を創出します。
- 女性が働きやすい職場環境づくりを目指す企業への支援や、地域で活躍する女性の人材育成を行います。
- 移住・定住人口などの増加を促進し、地域コミュニティの活性化を図ります。

【令和6年度までの主な成果等】

指標	初期値	最新の実績値	R6までの目標値
障害者雇用率	2.11% (R1)	2.39% (R6)	2.50%
女性のチカラを活かすゴールド認証企業数	34 社 (R2)	50 社 (R6)	46 社
みやぎ移住サポートセンターを通じた UIJ ターン移住者数 (人・累計)	348 人 (R1)	961 人 (R6)	790 人

取組② 文化芸術・スポーツ活動と生涯学習の振興

【主な取組】

- みやぎ県民文化創造の祭典“芸術銀河”の開催や、文化芸術に触れる機会の少ない方への働きかけ強化により、文化芸術に親しむ機会を拡大します。
- 「総合型地域スポーツクラブ」の設立を支援することなどにより、誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる環境を整えます。
- 地域社会と結びついた学びの場の充実を図り、誰もが生涯を通して主体的・自発的に学び、その成果を社会に還元できる環境を整備します。

【令和6年度までの主な成果等】

指標	初期値	最新の実績値	R6までの目標値
総合型地域スポーツクラブの市町村における育成率	77.1% (R2)	80.0% (R6)	100.0%
市町村社会教育講座の参加者数(人口千人当たり)	744 人 (H30)	545 人 (R5)	756 人

つくる5に対するあなたの重視度と満足度について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

重視度	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 分からない
満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

今後優先すべきと思うテーマについて、次の中から番号を選び○をつけてください(複数選択可)。

- 1 誰もが自分らしく活躍できる雇用環境の整備、就労を支援する
- 2 女性や高齢者等が活躍できる社会をつくる
- 3 地域のつながりを強化し活性化させる
- 4 外国人が活躍しやすい社会をつくる
- 5 県民が行う文化芸術活動への支援や文化芸術に親しむ機会を増やす
- 6 文化芸術やスポーツの持つ力を様々な分野で活用する
- 7 アスリートへの支援や県民がスポーツを楽しむ機会を増やす
- 8 様々な学びの機会を提供し、人材育成を進める

取組① 生涯を通じた健康づくりと持続可能な医療・介護サービスの提供

【主な取組】

- 「スマートみやぎ健民会議」により、企業や団体と連携した健康づくりに関する県民運動を展開するほか、アプリを活用した運動量増加促進などに取り組みます。
- 医学生等に対する修学資金の貸付けや、勤務環境改善に取り組む医療機関への助成等により、医療人材の確保・定着を進めます。
- 認知症高齢者等を支える体制の構築や介護人材の確保・定着に向けた取組により、生涯安心して暮らせる地域づくりを目指します。



【令和6年度までの主な成果等】

指標	初期値	最新の実績値	R6までの目標値
メタボリックシンドローム 該当者及び予備軍の割合	30.9% (H30)	31.9% (R5)	29.4%
新規看護職員充足率	77.6% (R1)	69.8% (R6)	100.0%
介護サービス事業所の 介護職員数	32,870 人 (R1)	33,112 人 (R5)	40,177 人

取組② 障害の有無に関わらず安心して暮らせる社会の実現

【主な取組】

- 障害を理由とする差別の解消に向けた普及啓発事業を展開するほか、障害者アート作品の社会的認知度を高める取組などを通じ、共生社会づくりを進めます。
- 発達障害のある方やご家族がライフステージに応じて身近な地域で支援を受けられる体制を構築するため、発達障害者支援センターの設置や発達障害者地域支援マネージャーの配置などを行います。
- 障害者の収入確保に繋がるよう、障害者が働く事業所を支援します。

【令和6年度までの主な成果等】

指標	初期値	最新の実績値	R6までの目標値
入院中の精神障害者の地域 生活への移行（入院後3ヶ 月時点の退院率）	59.0% (H29)	60.5% (R3)	69.0%
就労継続支援B型事業所等 における工賃の平均月額	17,477 円 (R1)	22,973 円 (R5)	24,000 円

取組③ 暮らし続けられる安全安心な地域の形成

【主な取組】

- 地域における公共交通の維持・確保のため、交通事業者への補助等や利用促進に向けた事業を実施します。
- デジタル身分証アプリの普及拡大により「情報を必要とする人に対して必要な情報を届ける」環境を整え、県民の方々が DX を実感できるサービスの提供を行います。
- 犯罪が起こりにくい環境づくりにより、安心して暮らすことができる地域社会の実現を目指します。

【令和6年度までの主な成果等】

指標	初期値	最新の実績値	R6までの目標値
一人当たり 年間公共交通機関利用回数	121 回 (H30)	115 回 (R5)	106 回
刑法犯認知件数	10,193 件 (R2)	11,385 件 (R6)	10,193 件

つくる6に対するあなたの重視度と満足度について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

重視度	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 分からない
満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

今後優先すべきと思うテーマについて、次の中から番号を選び○をつけてください（複数選択可）。

- 1 心と身体の健康を保てるよう、あらゆる世代への支援体制を強化する
- 2 日常の医療から高度な医療まで、切れ目のない医療サービス提供体制をつくる
- 3 感染症の発生及びまん延を防ぎ、必要な医療を受けられる体制をつくる
- 4 介護予防や生活支援サービスの充実・介護人材の確保などを進め、高齢者が安心して暮らせる地域をつくる
- 5 障害や障害者に対する理解・関心を深め、障害のある人もない人も共に支え合う社会をつくる
- 6 誰もが暮らしやすいユニバーサルデザイン*に配慮したまちづくりを進める
- 7 障害者や難病患者等が安心して暮らせるよう、福祉サービスを充実させる
- 8 生活に必要な交通手段を提供する事業者を支援し、地域に適した移動手段を確保する
- 9 商店街の魅力を高め、地域のにぎわいをつくる
- 10 地域が一体となって、犯罪や交通事故などが起きにくい環境をつくる

*ユニバーサルデザイン…年齢や障害の有無にかかわらず、すべての人が使いやすいように工夫された用具・建造物などのデザイン。

つくる7【自然と共存】 自然と人間が共存共栄する社会をつくる

取組① 環境負荷の少ない地域経済システム・生活スタイルの確立

【主な取組】

- 「2050年温室効果ガス排出実質ゼロ」に向け、環境に配慮した行動に繋がる効果的な普及啓発を行います。
- 事業活動で生じる二酸化炭素の削減支援や環境関連設備等の開発支援により、環境に配慮した技術・プロセスの導入等を促進します。



【令和6年度までの主な成果等】

指標	初期値	最新の実績値	R6までの目標値
再生可能エネルギー等の導入量（熱量換算）	33,473TJ (R1)	53,050TJ (R6)	42,248TJ
一般廃棄物リサイクル率	25.5% (H30)	22.6% (R5)	27.7%

取組② 豊かな自然と共生・調和する社会の構築

【主な取組】

- 希少野生動植物の生息調査や農作物被害を防ぐための指定管理鳥獣の捕獲等により、自然と地域社会との調和のとれた適切な保護管理を行います。
- 環境保全・再生活動の推進に向けた取組を支援します。
- 農山漁村と都市との交流人口などの拡大に向け、農山漁村の受入体制の構築に向けた取組を支援します。

【令和6年度までの主な成果等】

指標	初期値	最新の実績値	R6までの目標値
農村環境保全等の協働活動に参加した人数	58,102 人 (R1)	67,911 人 (R6)	66,500 人
みやぎ海岸林再生みんなの森林づくり活動参加人数	1,900 人 (R2)	5,996 人 (R6)	2,850 人

つくる7に対するあなたの重視度と満足度について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

重視度	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 分からない
満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

今後優先すべきと思うテーマについて、次の中から番号を選び○をつけてください（複数選択可）。

- 1 環境汚染の防止や地球温暖化対策をはじめとする環境問題への理解を深め、環境にやさしい行動をする
- 2 エネルギーを無駄なく使い、再生可能エネルギーの利用を増やす
- 3 環境問題の解決につながる産業を成長させる
- 4 ゴミを減らしながら、できるだけ再利用やリサイクルをする
- 5 ゴミの不法投棄等をなくし、正しく処分する
- 6 地域の生き物がこれからも暮らし続けられる自然環境を守る
- 7 森林や水辺、農山漁村について学べる環境をつくる
- 8 農村・漁村、森林など地域の豊かな恵みを守りながら、色々な面で積極的に活用する
- 9 農村・漁村の暮らしや景観等を活かして都市部から人を呼び込む

つくる8【県土】 世代を超えて安全で信頼のある強くしなやかな県土をつくる

取組① 大規模化・多様化する災害への対策の強化

【主な取組】

- 地域や企業における防災活動の担い手の育成や、市町村が行う自主防災組織の活性化に向けた取組を支援します。
- 学校への防災主任等の配置や、将来の地域防災活動の担い手となるジュニア防災リーダーの養成などにより、教育現場における防災対応力の向上を図ります。
- 大規模・多様化する自然災害に備え、洪水・土砂災害防止、耐震化や高潮対策等の整備を促進します。

【令和6年度までの主な成果等】

指標	初期値	最新の実績値	R6までの目標値
自主防災組織の組織率	83.1% (R2)	80.7% (R6)	87.0%
地域住民と連携した避難訓練を実施している学校の割合	47.8% (R1)	47.3% (R6)	70.0%

取組② 生活を支える社会資本の整備、維持・管理体制の充実

【主な取組】

- 予防保全型の考え方により、インフラの長寿命化対策を進めます。
- 道路や河川などの公共空間について、企業や地域住民が清掃・美化、管理活動を行うアドプトプログラムを推進します。

【令和6年度までの主な成果等】

指標	初期値	最新の実績値	R6までの目標値
橋梁の長寿命化対策率	7.0% (R2)	54.5% (R6)	48.0%
港湾施設の長寿命化対策率	30.6% (R1)	61.1% (R6)	58.3%
アドプトプログラム認定団体数	641 団体 (R2)	752 団体 (R6)	684 団体

つくる8に対するあなたの重視度と満足度について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

重視度	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 分からない
満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

今後優先すべきと思うテーマについて、次の中から番号を選び○をつけてください（複数選択可）。

- 1 東日本大震災の経験を活かし、災害発生時の対応力を高める
- 2 企業や町内会等と連携し、地域における防災体制を強化する
- 3 避難訓練などを通じて、県民の防災意識を高める
- 4 防災に関する教育を充実させ、学校の防災体制を強化する
- 5 施設の整備や情報提供体制の強化などにより、災害への備えを充実させる
- 6 道路、水道等のインフラを計画的に整備するとともに、適切に維持管理する
- 7 企業や地域住民と協力した公共施設管理の取組を進める

暮らしの満足度についてお聞きします。

問1 あなたの日常生活及び社会生活において、次の1から10の項目の満足度について、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

	1 満 足	2 やや満足	3 やや不満	4 不 満	5 分からない
1 仕事の状況や収入	1	2	3	4	5
2 ワークライフバランス（仕事と生活）	1	2	3	4	5
3 出産・子育てのしやすさ	1	2	3	4	5
4 現在の学校教育の内容や環境	1	2	3	4	5
5 コミュニティの賑わいなど社会とのつながり	1	2	3	4	5
6 文化・芸術・スポーツへの親しみ	1	2	3	4	5
7 医療・福祉・介護サービス	1	2	3	4	5
8 余暇活動や生きがいなど生活の楽しさ	1	2	3	4	5
9 身の回りの自然環境や公園の充実	1	2	3	4	5
10 安心安全のための防犯や防災	1	2	3	4	5

問2 あなたは、宮城で暮らして良かったと思いますか。
1から5のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

1 良かった	2 どちらかといえば良かった	
3 どちらかといえば良くなかった	4 良くなかった	5 分からない

防災意識についてお聞きます。

問1 あなたは、地震・津波・風水害等の自然災害に備え、日頃どのような対策を行っていますか。
1から11のうち、あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。

- 1 非常用持出品の用意
- 2 食料・飲料水、生活用品の備蓄
- 3 ハザードマップによる災害リスクの確認
- 4 家具等の転倒・落下による被害の防止
- 5 自然災害に備えた保険等への加入
- 6 避難場所、避難ルート、家族間の連絡方法・行動ルールの事前確認
- 7 マイ・タイムライン等（災害時に自分自身がとる防災行動の計画表（上記6））の作成
- 8 地域での防災活動・避難訓練への参加
- 9 震災の経験や教訓を学ぶこと、伝えること
- 10 防災対策はしていない
- 11 その他 （ ）

付問1 問1で【10】を選んだ方にお聞きます。
 防災対策をしていない主な理由は、どのようなことですか。
 1から6のうち、あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。

- 1 役に立つかどうか分からないから
- 2 地域の防災に関する情報を知らないから
- 3 費用が負担になるから
- 4 災害が起きても自分の地域は大丈夫と思うから
- 5 災害が起きても行政の対応等で問題ない考えるから
- 6 その他（ ）

宮城県の復旧・復興の進捗状況についてお聞きします。

問1 あなたは、東日本大震災の記憶の風化について実感することがありますか。

1から5のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- | | | |
|----------------|-------------|---------|
| 1 常に実感する | 2 たまに実感する | |
| 3 あまり実感したことはない | 4 実感したことはない | 5 分からない |

※【3】【4】【5】を選んだ方は問2に進んでください。

付問1 問1で【1】【2】を選んだ方にお聞きします。

どのようなことに、震災の記憶の風化を実感しますか。

1から9のうち、あてはまる番号に○をつけてください（3つ以内）。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 自分自身の意識 | 2 家族との会話 |
| 3 被災地の友人・知人との会話 | 4 被災地以外の友人・知人との会話 |
| 5 新聞やテレビなどでの取り上げ方 | 6 日々の生活の状況 |
| 7 行政の予算や支援 | 8 分からない |
| 9 その他（ | ） |

問2 宮城県の復旧・復興の取組について、もっと力を入れてほしいと思う取組はどれですか。

1から18のうち、あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。

分野1 生活再建の状況に応じた 切れ目のない支援	1 被災者の心のケア 2 児童生徒の心のケア 3 地域コミュニティ再生 4 文化芸術による心の復興 5 震災遺児孤児支援
分野2 回復途上にある産業・ なりわいの下支え	6 中小企業支援 7 雇用の維持・確保 8 観光振興 9 農林水産物の販路開拓 10 海洋がれき処理
分野3 福島第一原発 事故被害への対応	11 損害賠償請求支援 12 除染関連 13 放射能検査 14 風評対策（安全情報の発信）
分野4 復興事業のフォローアップと 成果・教訓の伝承	15 震災の検証 16 震災伝承 17 情報発信
18 その他	（ ）

最後の問へ進みます



仙台・宮城観光PRキャラクター
むすび丸

最後に、この調査に対するご意見などをお聞きます。

問1 この調査についてどのように感じましたか。

下記のそれぞれの項目について、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

① 設問の量

1 少ない

2 ちょうど良い

3 多い

② 文章説明の分かりやすさ

1 分かりやすい

2 ふつう

3 分かりにくい

③ 文字の量

1 少ない

2 ちょうど良い

3 多い

④ 記入方法の分かりやすさ

1 分かりやすい

2 ふつう

3 分かりにくい

問2 この調査に回答するために、合計でどのくらいの時間がかかりましたか。

1から4のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

1 1時間未満

2 1時間以上2時間未満

3 2時間以上3時間未満

4 3時間以上

問3 この調査は、県民の意見を県政に反映させる方法として適切だと思いますか。

1から4のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

1 適切である

2 どちらかといえば適切である

3 どちらかといえば適切ではない

4 適切ではない

付問1 問3で【3】【4】を選んだ方にお聞きます。

あなたは、県民の意見を県政に反映させる方法として、どのような方法が望ましいと思いますか。ご意見・アイデアなどがございましたらご記入ください。

問4 県政全般について、ご意見、ご要望などがございましたら下の枠内にご記入ください。

<< ご協力ありがとうございました >>

ご記入いただいた調査票は11月28日（金）までに投函をお願いします。
本調査は無記名ですので、封筒にはお名前やご住所を書かずにポストに投函してください。

➤ 【問い合わせ】

宮城県企画部 総合政策課 行政評価班
〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8番1号
電 話:022-211-2406 FAX:022-211-2493
メール:seisakug@pref.miyagi.lg.jp



➤ 【県のホームページ】（県民意識調査について）

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/seisaku/ishiki-gaiyou.html>

「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
App Store は Apple Inc.のサービスマークです。
Apple および Apple ロゴは米国その他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
Google Play および Google Play ロゴは Google LLC の商標です。

環境に優しい植物油インキを使用しています。再生紙を使用しています。